

ファミリービジネスの次世代承継

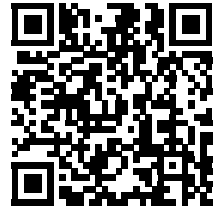
～引き継ぐ者と引き継がれる者に求められる事業承継の準備～

オンデマンド配信 (YouTube)

(2023/7/24録画)

○参加費 無料

○申込方法 大阪投資育成のHP または右記の二次元コードからお申込ください。
(<https://www.sbic-wj.co.jp/training>)
※同業の方からのお申込はお断りさせていただきますのでご了承ください。



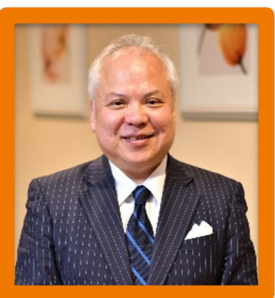
※参加申込いただきました個人情報、参加者名簿として講師機関と共有し、セミナーの企画・運営・実施のために利用する他、関連するアフターサービス、必要な情報提供及び投資育成制度に関する各種ご案内のために使用いたします。また、申込された方には出席・欠席を問わず講師機関及び弊社より後日、ご連絡させていただく場合がございます。

セミナー内容

——— ファミリービジネスの円滑な承継に必要なものとは？

ファミリービジネス（同族企業、同族経営）は、株主、一族、経営という3つの要素が複雑に絡み合う固有の特徴を有しています。それ故、特に事業承継のタイミングでは、ファミリービジネスの関係者（＝創業家一族、非一族の役員・社員など）の入れ替わりによる人的関係性の希薄化や、資産・経営に伴う関係者間での調整に端を発した利害対立の表面化を招く恐れがあります。その渦中にあるのがファミリービジネスの創業家一族であり、一族の立ち振る舞い次第で事業承継に禍根を残すことにもなりかねません。事業承継に際しては入念な準備が必要となりますが、引き継ぐ者だけ（特に、当世代の経営者のみ）がそうした準備を行うのでは不十分です。一族の事業で働いていない当世代（＝経営者の配偶者や兄弟姉妹等）と引き継がれる者（＝財産・経営の次世代承継者）を巻き込み、必要に応じ、時には非一族の経営陣も含め、創業家一族が前面に立ち一体となって計画を立案・承認・実行することに意義があります。そこで本セミナーでは、ファミリービジネスの円滑な事業承継に向け、不可欠となる“一族の一体性強化”や“次世代教育”等に関し、事例を交えながら紹介します。

講師紹介



よねだ たかし
米田 隆 氏

1981年早稲田大学卒、旧日本興業銀行入行。85年米国フレッチャー法律外交大学院卒業。91年より国際経営コンサルティング会社を創業し、99年米国最大のIFA支援専門証券会社の日本法人を立ち上げCEOを8年間務める。2008年にはファミリービジネス学会の理事、12年に証券アナリスト協会PB教育委員長、13年に早稲田大学大学院商学部(MBA)客員教授に就任。21年1月より(株)青山ファミリーオフィスサービスの設立に携わり、同社取締役。資産・事業承継、新規事業投資、資産運用、法人・個人を統合したファイナンス戦略の立案、ファミリービジネスまで、幅広く講演・コンサルティング・研究に従事している。

早稲田大学 ビジネス・ファイナンス研究センター上級研究員（研究院教授）
株式会社 青山ファミリーオフィスサービス 取締役

“スチュワードシップ”



私達は父親の世代から
一族事業を相続したわけではない。
子供の世代から預かっているに過ぎない。

(HERMÈS 6代目CEOアケル・デュマ氏より)

お問い合わせ：大阪中小企業投資育成株式会社 セミナー事務局／三上
〒530-6128 大阪市北区中之島3-3-23 中之島ダイビル28階
TEL:06-6459-1700 support@sbic-wj.co.jp